

# 市 民 課

## 【総括】

市民課は「市役所の顔」としての自覚を職員それぞれが持ち、市民の視点に立った親切でわかりやすい接遇と、スムーズに用件を済ませられる正確・迅速な対応に努めました。

連絡所業務では、納税、各種証明書の発行や申請等、市役所事務の一部を分掌し、本庁への来庁が困難な住民への行政サービスの提供を行いました。このほか、各課からの業務依頼については、事前に事務依頼の詳細を記載した業務区分書を活用し、各連絡所で統一した事務取扱いとなるよう事務の効率化とサービスの提供に努めました。

交通安全普及事業については、通学路での交通事故防止を目的に、学校をはじめとする関係機関等と連携して、啓発活動と通学路の合同点検を実施し、危険箇所を確認した上で対策を検討しました。

地域連携事業では、市民活動団体同士の交流を目的とした交流会を開催し、親睦を深めました。特に、映画「ふるさとがえり」では、予定していた6地域を上回る25地域から上映会の希望があり、市民が交流できる場を創出しました。上映後には、市長と映画を観た感想やふるさとへの想いなどについて語り合うことで、人とのつながりと地域への関わりについて考える機会を届けました。

地域づくり応援アドバイザー事業では、新たに14団体の活動を冊子（108SMILE）にして紹介するとともに、交流の機会を創出するため、各団体が行うイベント情報の発信を行いました。また、協働意識の向上を図るため、職員研修と長岡中学校文化ボランティア部の生徒を対象に研修を実施しました。

自治会連合会では、市の関係機関と連携して各種会議を開催し、事業を実施していくことで市民と行政の信頼関係を深めました。

その他、地域の維持・活性化に向け長岡地区に集落支援員を継続して配置し、地域活動の支援を行いながら、高齢者の見守り活動など課題解決に向け地域で取り組みを継続していくこととし、事業を終了しました。協働推進委員会では「協働提案書」に基づき、施策及び市民活動の現状について検証し、今後の協働推進について協議しました。

戸籍事務では、マイナンバー制度導入に向け、統一的な文字を整備するための情報抽出作業を委託し、個人番号カードの普及促進を図るため、申請に必要な顔写真の無料撮影を行いました。

福祉医療費助成においては、適正な事務執行に努めるとともに、平成30年9月から未就学児を対象として、鳥羽市・志摩市・伊勢市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町の医療機関等における福祉医療費の現物給付化を実施しました。

国民年金についても広報を活用し、制度の周知に努めました。

また、国民健康保険・後期高齢者医療特別会計に繰出金を支出し、財政の安定化を図りました。

人権施策及び啓発活動の推進については、人権意識の高揚を図るため、関係機関と連携し、人権講演会を開催したほか、図書館への関係図書展示や人権作品の募集・展示、街頭啓発活動の実施など、広く市民への人権意識の高揚を目指し、取り組みに努めました。

男女共同参画推進事業では、映画祭をはじめとする啓発活動を行ったほか、令和元年度末に計画期間終了を迎える「鳥羽市第2期男女共同参画基本計画」の改訂に向け、審議会を開催し素案作成を行いました。

## 【予算執行を伴わない事業】

交通安全対策の担当課として、鳥羽みなとまつり実行委員会警備部会に属し、臨時駐車場運営、交通誘導及び路上駐車抑止のため、関係団体等と連携協力し警備体制の構築に努めました。

市民相談については、電話及び窓口で対応し相談内容を的確に把握するとともに、問題の早期解決に向け担当課及び関係機関に適切につなげるように努めました。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 1 一般管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,770	1,561					3	1,558

事業区分		1 総務給与等管理費		1,561 千円		事項別明細書 P 50 ~	
給与等管理業務 (市民課)				予算現額	1,508 千円		
				決算額	1,300 千円		
				翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう			(前年度決算額)	2,118 千円		
臨時職員1名を雇用し、保険年金係の事務の円滑な運営に努めました。							
○主な経費 賃金等 : 1,290千円							
一般管理経費 (市民課)				予算現額	262 千円		
				決算額	261 千円		
				翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう			(前年度決算額)	159 千円		
協働のまちづくりを推進する業務等を円滑に進めるために、時間外勤務手当を支出しました。							
○主な経費 時間外勤務手当2名分 : 261千円							

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 6 企画費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,403	3,044				2,034		1,010

事業区分		2 地域連携事業		3,044 千円		事項別明細書 P 58 ~	
地域のためにがんばる団体応援事業				予算現額	1,591 千円		
				決算額	1,436 千円		
				翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう			(前年度決算額)	1,339 千円		
身近な地域の活性化や課題の解決に向け、自らの力で地域をより良くしていこうという思いを持つ住民や団体等が行う活動の中で、経済的に支援が必要と思われる事業に対し、経費の一部を補助することにより、自主的・主体的な取り組みを応援して市民参画を推進しました。							
○主な経費 : 補助金 1,355 千円 審査委員報償費 49 千円							
(※次頁内訳)							

地域のためにがんばる団体応援事業

事業名	補助額	団体名
とばっこ夏休み防災ツアーinふくしま!	200 千円	鳥羽防災ボランティアほっと
第12回新宿トラッドジャズフェスティバルin鳥羽	200 千円	ジャズフェスティバル実行委員会
鳥羽の日前夜祭	200 千円	Next108
障がい者と地域住民との交流事業	200 千円	鳥羽アスリード
平成31年鳥羽市ダブル成人式	155 千円	鳥羽市ダブル成人式実行委員会
方言集の作成と伝承の保存活動	150 千円	「ハールワイ鳥羽」市老人クラブ連合会
伝統文化「能・狂言」の継承と活気あるまちづくり	100 千円	鳥羽市能楽保存会
鳥羽・長尾オルガンコンサート	100 千円	鳥羽長尾オルガン協会
マーチングドリルの演奏による元気なまちづくり	50 千円	鳥羽マーチングスポーツ少年団

○主な財源 : 繰入金 (ふるさと創生基金) 1,436 千円

協働のための人材育成事業	予算現額	1,812 千円
	決算額	1,608 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標 5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	955 千円

(1) 地域づくり応援アドバイザー事業

市民活動団体を広く発信する冊子(108SMILE)を作成するため、地域づくり応援アドバイザーが取材の中で、活動に関する現状や課題などを聞いた上で、活動の維持・発展に繋がるアドバイスをを行いながら、新たに14団体を紹介するとともに、団体が行うイベント情報の発信を行い交流促進を図りました。また、協働意識の向上のため、職員を対象とした研修と長岡中学校文化ボランティア部の生徒を対象にした研修を実施しました。

(2) 映画「ふるさとがえり」心をつなぐ上映会 (鑑賞者753名、語り合い455人)

市民が交流できる場を創出するために、映画「ふるさとがえり」の上映会を希望された25地域で開催しました。上映会後には、映画を観た感想やふるさとへの思いなどについて、市長と語り合い、人とのつながりがり、地域への関わり方について考える機会を届けました。

(3) 市民活動団体交流会 (参加者:12団体、40名(内、市職員有志6人含む))

市民参加のまちづくりを進めるため、地域のためにがんばる団体応援事業の審査会日に合わせ市民活動団体交流会を開催し、団体同士並びに有志職員が交流して情報交換を行いました。

(4) 鳥羽市協働推進委員会 (開催数2回)

市民と行政によるまちづくりを推進するため、「鳥羽市協働提案書」に基づき、施策及び市民活動の現状について検証し、今後の協働推進について協議しました。

○主な経費: 報償費 675 千円 旅費 182 千円 需用費 335 千円 使用料 324 千円

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 7 連絡所費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
30,006	29,602					105	29,497

事業区分 1 連絡所運営管理経費 29,602 千円 事項別明細書 P 60 ~

連絡所業務	予算現額	30,006 千円
	決算額	29,602 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額) 28,886 千円

離島及び南鳥羽地区など、本庁舎へ来庁することが困難な住民等への行政サービスが低下することのないよう、市内8箇所の連絡所に嘱託職員10名を配置し、効率的かつスムーズな業務遂行に努めるとともに、地域住民や高齢者等の身近な窓口としての役割を担いました。

連絡所の業務は、戸籍や税証明の発行及び市税等の納付などの恒常的な日々の業務のほか、各課からの依頼業務は、年々複雑化・多様化しているため、事前に業務内容及び事務手順を記載した業務区分書を活用することで、各連絡所において同一のサービスが提供できるよう努めました。

また、坂手連絡所の入口引違い戸の鍵の取替や加茂連絡所の浄化槽三次処理用ブロワーの取替等を行い、連絡所の適正な施設管理に努めました。

○ 他課からの依頼業務件数 35件

○ 8連絡所での市税等の納付及び戸籍等手数料の取扱いについては、下記のとおりです。

項 目	市取扱		連絡所取扱		連絡所取扱率 (%)
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
市税 (市県民税、固定資産税、入湯税、軽自動車税、国民健康保険税)	(口座振替等) 2, 119, 542, 358 窓口納付 (合計) 3, 484, 319, 951	1, 364, 777, 593	5, 496	106, 781, 819	3.06%
税諸証明	9, 568	1, 260, 300	1, 386	284, 600	22.58%
戸籍謄本等及び諸証明 (戸籍謄本等、住民票謄本等、印鑑登録・証明、その他諸証明)	21, 844	7, 228, 200	5, 289	1, 517, 950	21.00%
保険料					
・ 後期保険料	5, 013	59, 634, 703	433	2, 989, 402	5.01%
・ 介護保険料	3, 739	31, 112, 680	522	4, 648, 150	14.94%
定期船回数券等	—	—	4, 081	18, 221, 950	—
その他使用料等 (住宅、土地、水道、火葬場、下水道等)	—	—	1, 861	13, 559, 468	—
計			19, 068	148, 003, 339	

○主な経費

人件費(嘱託職員10名分)

27,389千円

光熱水費

864千円

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 9 交通安全対策費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,715	1,633				500		1,133

事業区分		1 交通安全普及事業		1,633 千円	事項別明細書 P 60 ~																		
交通安全対策普及事業				予算現額	1,715 千円																		
				決算額	1,633 千円																		
				翌年度繰越額	0 千円																		
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう			(前年度決算額)	1,665 千円																		
<p>四季の交通安全運動期間を中心に関係機関と連携して、街頭指導及び広報啓発活動を行いました。また、交通事故防止と交通安全意識の高揚に努めるため、市内小・中学校及び幼稚園の交通安全母の会へ活動補助金を交付したほか、老人クラブなどを対象とした交通安全教室を開催しました。そのほか、通学路の交通安全確保に向けた通学路合同点検を離島の小中学校を中心に関係機関と連携して実施し、危険箇所を確認した上で対策を検討しました。</p> <p>【主な啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者交通安全教室の開催 5地区老人クラブ、延85人</li> <li>・ 小・中学生交通安全ポスター募集・展示 277点(小学生:180点 中学生:97点) (展示期間9月21日(金)～10月11日(木))</li> <li>・ 全国交通安全運動期間中の登校指導 年4回、延べ56人</li> <li>・ 交通安全母の会 愛のフラッグ事業 11校・1園参加</li> </ul> <p>○主な経費</p> <table border="0"> <tr> <td>会費等負担金</td> <td>鳥羽地区交通安全協会</td> <td>640千円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>鳥羽市交通安全母の会事業</td> <td>255千円</td> </tr> </table> <p>○主な財源</p> <p>繰入金(ふるさと創生基金) 500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内における交通事故発生件数(対前年)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>総件数</th> <th>物損事故件数</th> <th>死者数</th> <th>負傷者数</th> <th>人身事故件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>2,004 (鳥羽署管内)</td> <td>1,707 (鳥羽署管内)</td> <td>0(3)</td> <td>36(57)</td> <td>26(36)</td> </tr> </tbody> </table>						会費等負担金	鳥羽地区交通安全協会	640千円	補助金	鳥羽市交通安全母の会事業	255千円	年	総件数	物損事故件数	死者数	負傷者数	人身事故件数	30	2,004 (鳥羽署管内)	1,707 (鳥羽署管内)	0(3)	36(57)	26(36)
会費等負担金	鳥羽地区交通安全協会	640千円																					
補助金	鳥羽市交通安全母の会事業	255千円																					
年	総件数	物損事故件数	死者数	負傷者数	人身事故件数																		
30	2,004 (鳥羽署管内)	1,707 (鳥羽署管内)	0(3)	36(57)	26(36)																		

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 12 神島開発総合センター費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,057	2,813					1,123	1,690

神島開発総合センター運営経費	予算現額	3,057 千円
	決算額	2,813 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 2,287 千円

神島開発総合センターは、神島町民の生活改善や、保健・福祉の増進、伝統文化の保存保護、離島の活性化に寄与する施設として利用されており、その役割を果たすべく適正な管理運営に努めました。

また、台風被害による雨戸等の修繕や施設の経年劣化による自動火災報知設備の取替を行いました。

## ○主な経費

委員報酬	神島開発総合センター運営委員会委員	31 千円
光熱水費		1,210 千円
修繕料		704 千円
浄化槽・消防用設備点検業務委託料		651 千円

## 【神島開発総合センターの使用状況】

	集会室	娯楽室	調理室	研修室	会議室 (1)	会議室 (2)	合計
有料	13件	40件	5件	2件	1件	0件	61件
	561人	1,060人	48人	16人	20人	0人	1,705人
無料	24件	126件	2件	4件	0件	0件	156件
	891人	2,035人	20人	48人	0人	0人	2,994人
合計	37件	166件	7件	6件	1件	0件	217件
	1,452人	3,095人	68人	64人	20人	0人	4,699人

## (款) 2 総務費

## (項) 1 総務管理費

## (目) 14 地域振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
6,070	5,736					4,000	1,736

一般コミュニティ事業	予算現額	4,000 千円
	決算額	4,000 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額) 7,500 千円

一般財団法人 自治総合センターが行う助成事業の採択を受けた町内会が、コミュニティ活動に直接必要な備品等の整備を行い、地域社会の発展と住民福祉の向上に寄与しました。

## ○主な経費

一般コミュニティ助成事業補助金 (五丁目町内会)	2,500 千円
--------------------------	----------

<b>一般コミュニティ事業</b>	
一般コミュニティ助成事業補助金（堅神町内会）	1,500 千円
○主な財源	
コミュニティ事業助成金（一般財団法人 自治総合センター）	4,000 千円

事業区分	<b>4 集落支援員事業</b>		1,736 千円	事項別明細書 P 68 ~
	<b>集落支援員事業（長岡地区）</b>		予算現額	2,070 千円
			決算額	1,736 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	1,789 千円	
<p>長岡地区5町の維持・活性化を図るため、地域の実情に詳しくノウハウ・知見を有している方2名を集落支援員として継続配置（専任1名・兼任1名）し、前年度、取り纏めを行った集落点検結果をもとに、地域の目配り役として地域活動の支援を行いながら、高齢者の見守りなど課題解決に向け、地域力を活かした取り組みを継続していくこととし、4年間の事業を終了しました。</p>				
○主な経費				
報償費2名分（専任・兼任1名ずつ）		1,616 千円		
使用料及び賃借料		120 千円		

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 17 コミュニティセンター費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,483	1,461						1,461

事業区分	<b>1 コミュニティセンター運営管理経費</b>		1,461 千円	事項別明細書 P 70 ~
	<b>コミュニティセンター運営管理経費</b>		予算現額	1,483 千円
			決算額	1,461 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	1,343 千円	
<p>コミュニティの活動拠点として建設された5地区のコミュニティセンターについて、指定管理者である地元町内会（自治会）が、地域の活力を積極的に活用した施設の運営管理を行い、住民相互の交流促進と自治意識の高揚及び文化の振興を図りました。</p>				
○主な経費 委託料				
桃取コミュニティセンター指定管理業務	639 千円	貸室年間使用件数	479 件	
畔蛸コミュニティセンター指定管理業務	195 千円	貸室年間使用件数	113 件	
船津コミュニティセンター指定管理業務	140 千円	貸室年間使用件数	90 件	
答志コミュニティセンター指定管理業務	224 千円	貸室年間使用件数	234 件	
答志和具コミュニティセンター指定管理業務	145 千円	貸室年間使用件数	519 件	

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 18 諸費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
781	764	10					754

事業区分		1 自治会運営経費		754 千円 事項別明細書 P 70 ~							
鳥羽市自治会連合会補助事業			予算現額	754 千円							
			決算額	754 千円							
			翌年度繰越額	0 千円							
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	615 千円								
<p>(1) 自治会連合会活動費補助金 600 千円 地域住民が安全で安心して暮らしていけるよう46町内会・自治会が相互に連携して関連する課題解決に向け、市行政並びに関係機関と連携して各種事業を実施しました。 ※ 総会、会長会議及び各部会会議など (19回) ※ 視察研修及び要望活動等 ・名古屋大学減災連携センター及び愛知県庁視察研修 参加者 27名 ・陸上自衛隊、県防災防災航空隊並びに伊勢市防災センターでの研修 " 27名 ・やまだエコセンター及び市リサイクルパークでの研修 " 14名 ・三重県への要望事項に係る意見交換会 ・広報誌「自治会とば」発行、他</p> <p>(2) 掲示板設置事業費補助金 (4 地区) 132 千円 (1基 33千円補助) 4 町内会・自治会 (畔蛸、桃取、答志、美台) の掲示板設置事業に対して補助を行いました。</p> <p>(3) 放送施設整備事業費補助金 (1地区) 22 千円 (1/3補助 上限200千円) 安楽島町内会の町内放送施設整備事業に対して補助を行いました。</p> <p>○主な経費</p> <table><tr><td>自治会連合会活動費補助金</td><td>600千円</td></tr><tr><td>掲示板設置事業費補助金</td><td>132千円</td></tr><tr><td>放送施設整備事業費補助金</td><td>22千円</td></tr></table>						自治会連合会活動費補助金	600千円	掲示板設置事業費補助金	132千円	放送施設整備事業費補助金	22千円
自治会連合会活動費補助金	600千円										
掲示板設置事業費補助金	132千円										
放送施設整備事業費補助金	22千円										

事業区分		3 自衛官募集事業		10 千円 事項別明細書 P 72 ~			
自衛官募集事務事業			予算現額	17 千円			
			決算額	10 千円			
			翌年度繰越額	0 千円			
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	17 千円				
<p>自衛隊法第97条第1項及び自衛隊法施行令第114条から120条までの規定による法定受託事務として、広報紙へ自衛官募集記事を掲載したほか、募集要項送付など募集に関する事務を円滑に行いました。</p> <p>○主な財源</p> <table><tr><td>国庫支出金(自衛官募集事務委託金)</td><td>10千円</td></tr></table>						国庫支出金(自衛官募集事務委託金)	10千円
国庫支出金(自衛官募集事務委託金)	10千円						



事業区分		4 臨時運行許可経費		0 千円 事項別明細書 P 72 ~	
臨時運行許可業務		予算現額	10 千円		
		決算額	0 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	9 千円		
道路車両運送法第34条第2項の規定に基づき、臨時運行許可に係る業務を円滑に行いました。 ・平成30年度臨時運行許可件数 61件 自動車臨時運行許可証発行手数料 45,750円(@750円×61件)					

(款) 2 総務費

(項) 3 戸籍住民登録費

(目) 1 戸籍費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
35,813	35,469	486	25			7,182	27,776

事業区分		1 戸籍事務経費		35,469 千円 事項別明細書 P 74 ~	
戸籍事務		予算現額	35,813 千円		
		決算額	35,469 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	33,978 千円		
職員4名分の人件費を含む事務的な経費を執行し、戸籍法に基づいた戸籍の適正な管理を行いました。また、戸籍事務へのマイナンバー制度導入に向けて、統一的な文字を整備するための情報抽出作業を行いました。					
○主な経費					
職員人件費 (4名分)		22,363千円			
電算委託料					
戸籍総合システム保守委託		2,938千円			
戸籍情報システムマイナンバー制度導入作業委託		486千円			
備品購入費 契印機		161千円			
会費等負担金 戸籍住民基本台帳事務協議会負担金		2千円			
○主な財源					
国庫支出金					
社会保障・税番号制度システム整備費補助金		486千円			
県支出金					
保健福祉関係統計調査費交付金		25千円			
【戸籍数】					
前年度と比較して、本籍数は110戸籍、本籍人口は388人減少しました。					
本籍数 12,223戸籍		本籍人口 28,898人			
【戸籍手数料】					
前年度と比較して、有料の取扱い件数は1,015件、手数料は589,250円減少しました。					
有料 7,219件 4,265,600円		公用 2,094件		無料 82件	

戸籍事務

【戸籍事件取扱件数】

種 類	出 生	養子縁組	養子離縁	婚 姻	離 婚	死 亡	転 籍	その他	計
H29年度	225	19	4	329	60	453	97	125	1,312
H30年度	207	13	3	276	49	422	86	92	1,148

(款) 2 総務費

(項) 3 戸籍住民登録費

(目) 2 住民基本台帳費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
5,438	2,843	289	1,563			60	931

事業区分

1 住民基本台帳事務経費

2,843 千円 事項別明細書 P 76 ~

住民基本台帳事務	予算現額	5,438 千円
	決算額	2,843 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標 5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	3,850 千円

住民基本台帳・住民基本台帳ネットワークシステム・公的個人認証システムを適正に管理しました。また、個人番号カードの申請に必要な顔写真の無料撮影を行い、カードの普及促進を図りました。

○主な経費

負担金及び補助金

通知カード・個人番号カード関連事務委任交付金 1,520千円

○主な財源

国庫支出金

中長期在留者住居地届出等事務委託金 289千円

県支出金

個人番号カード交付事業費補助金 1,460千円

個人番号カード交付事務費補助金 103千円

【住民基本台帳人口】

前年度と比較して、人口は397人減少、世帯数は21世帯減少しました。

人口 18,616人 世帯数 8,391世帯

【住民基本台帳の動態】

	H30.3.31 住民基本台帳人口	増 加				計	減 少				計	H31.3.31 住民基本台帳人口
		県内より	県外より	出生	その他		県内へ	県外へ	死亡	その他		
男	8,936	98	150	55	4	307	165	174	146	1	486	8,757
女	10,077	102	289	43	2	436	170	322	161	1	654	9,859
計	19,013	200	439	98	6	743	335	496	307	2	1,140	18,616

**住民基本台帳事務**

**【住民基本台帳事務等手数料】**

前年度と比較して有料の取扱いについては、1,781件、手数料は360,100円減少しました。

	有 料		公 用	無 料
住基事務	8,528 件	1,742,200 円	1,362 件	13 件
印鑑証明	5,820 件	1,164,000 円	18 件	0 件
その他証明	282 件	56,400 円	1 件	0 件
計	14,630 件	2,962,600 円	1,381 件	13 件

**【個人番号カード交付数】**

307枚（平成30年4月～平成31年3月）

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 1 社会福祉総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
595,008	556,242	26,939	138,136				391,167

事業区分

4 福祉医療費助成事業

13,928 千円 事項別明細書 P 88 ~

福祉医療費助成事業	予算現額	15,581 千円
	決算額	13,928 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 5,632 千円

福祉医療助成事業を行うための事務的な経費を執行し、適正に医療費の助成を行いました。  
また、福祉医療費の現物給付化について、国の国民健康保険減額調整措置（未就学児のみ）等が見直されたことから、平成30年9月診療分から近隣の3市4町の医療機関等において現物給付化を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図り、受診環境の向上に努めました。

現物給付化に伴いシステム改修を行うと共に、現物給付用の受給資格証を発行しました。

※3市4町（鳥羽市、志摩市、伊勢市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町）

○主な経費

職員人件費（1名分）：5,153千円

委託料：8,723千円（電算委託料7,472千円、共同処理委託1,251千円）

事業区分

10 国民健康保険事業特別会計繰出金

234,561 千円 事項別明細書 P 90 ~

国民健康保険事業特別会計繰出金	予算現額	241,115 千円
	決算額	234,561 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 200,648 千円

国民健康保険事業特別会計の基礎的な経費及び財政基盤の安定を図るため、その実態に即した繰出しを行い、特別会計の適切な運営を図りました。

**国民健康保険事業特別会計繰出金**

主の財源である国庫支出金・県支出金（国民健康保険基盤安定制度負担金）の増額、また、同特別会計の歳入不足等による被保険者への影響を最小限に抑えるため、法定外繰入を行ったことにより、繰出金が増額となりました。

○主な財源

国庫支出金（国民健康保険基盤安定制度負担金）： 26,939千円  
 県支出金（国民健康保険基盤安定制度負担金）： 86,760千円

事業区分	12 後期高齢者医療特別会計繰出金		307,753 千円		事項別明細書 P 90 ~	
	後期高齢者医療特別会計繰出金		予算現額	338,312 千円	決算額	307,753 千円
			翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	335,041 千円			
後期高齢者医療特別会計の基礎的な経費及び財政基盤の安定を図るため、その実態に即した繰出しを行い、特別会計の適切な運営を図りました。						
○主な財源						
県支出金（後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金）： 51,376千円						

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 2 国民年金費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
14,184	13,201	5,219				11	7,971

事業区分	1 国民年金給与等管理費		13,201 千円		事項別明細書 P 90 ~	
	国民年金事務		予算現額	14,184 千円	決算額	13,201 千円
			翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	13,219 千円			
国民年金法による法定受託事務（各種申請、管理業務等）を適切に行うとともに市民への周知・勧奨として、広報とばを活用して制度等の周知に努めました。						
○主な経費						
職員人件費（正規、嘱託、臨時含む）： 12,698千円						
○主な財源						
国庫支出金（国民年金事務費交付金）： 4,949千円						

## 国民年金事務

被保険者の異動状況 (単位：人)

30年3月末 被保険者数	31年3月末 被保険者数	被保険者 増減数	平成30年度中の被保険者異動件数							
			取得		転入		転出		喪失	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3,668	3,479	△ 189	787	22.6%	123	3.5%	158	4.5%	941	27.0%

(出典：国民年金事業状況表(適用))

国民年金保険料免除状況(免除該当・承認者数) (1号：2,702人) (単位：人)

法定免除		申免(全)		申免(3/4)		申免(半)		申免(1/4)		学生特例		納付猶予		合計	
人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
201	7.4%	369	13.7%	43	1.6%	18	0.7%	5	0.2%	190	7.0%	72	2.7%	898	33.2%

(出典：国民年金事業状況統計表(保険料))

### (款) 3 民生費

#### (項) 1 社会福祉費

##### (目) 5 障害者福祉費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
68,690	64,740		29,755		4,825		30,160

事業  
区分

### 2 障害者医療費支給事業

64,740 千円 事項別明細書 P 96 ~

障害者医療費公費負担事業	予算現額	68,690 千円
	決算額	64,740 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 68,300 千円

障がい者の保健の向上に寄与し、疾病の早期発見と治療の確保を図るため、医療機関等を受診時に支払った医療費を県及び市が補助することで対象者の経済的負担を軽減しました。

#### ○主な経費

扶助費 64,246千円 (H29：67,834千円)

#### ○主な財源

県支出金(心身障害者医療費補助金) 29,755千円 (H29：31,471千円)

ふるさと創生基金 4,825千円

県補助事業(身体障がい者1～3級、IQ35以下、精神障がい者1級) (単位：円)

年度末 有資格者 (人)	医療費の助成		証明料の助成		補助率	県補助金 受入額
	件数	金額	件数	金額		
681	16,672	58,204,244	6,528	1,305,600	県1/2	29,754,922

市単独事業 (IQ36～50、精神障がい者2級 (H28.9月より))

年度末 有資格者 (人)	医療費の助成		証明料の助成		(単位：円)
	件数	金額	件数	金額	
105	1,964	4,399,875	1,682	336,400	

障害者医療費公費負担事業					
助成費の推移					(単位：円)
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
県単事業	66,551,670	63,951,023	62,708,575	62,942,497	59,509,844
市単事業	2,728,291	2,498,593	3,074,491	4,872,015	4,736,275
伸び率	94.34%	95.91%	99.00%	103.09%	94.74%

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 6 子ども医療助成費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
49,185	42,196		16,385	8,000	601		17,210

事業区分	1 子ども医療費支給事業	42,196 千円	事項別明細書	P 96 ~																																																														
子ども医療費公費負担事業	予算現額	49,185 千円																																																																
	決算額	42,196 千円																																																																
	翌年度繰越額	0 千円																																																																
	まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	43,838 千円																																																														
<p>子ども（義務教育修了まで）の疾病の早期発見と治療の確保を図り、保健の向上及び福祉の増進に寄与するため、県及び市が子どもの医療費を補助することで保護者の経済的負担を軽減しました。また、9月診療分から未就学児を対象に伊勢・志摩医師会管内において現物給付を実施し、受診環境の向上に努めました。</p> <p>○主な経費 扶助費 41,474千円 (H29：43,144千円)</p> <p>○主な財源 県支出金（子ども医療費補助金） 16,385千円 (H29：17,292千円) 地方債（過疎地域自立促進特別事業債） 8,000千円 (H29：8,000千円) ふるさと創生基金 601千円</p> <p>県補助事業（0歳～12歳年度末までの子どもの医療費） (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度末有資格者(人)</th> <th colspan="2">医療費の助成</th> <th colspan="2">証明料の助成</th> <th rowspan="2">補助率(※)</th> <th rowspan="2">県補助金受入額</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,295</td> <td>16,926</td> <td>30,459,981</td> <td>12,610</td> <td>2,522,000</td> <td>県1/2</td> <td>16,385,488</td> </tr> </tbody> </table> <p>※現物給付による県補助金の調整あり。</p> <p>市単独事業（13歳～15歳年度末までの子どもの医療費） (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度末有資格者(人)</th> <th colspan="2">医療費の助成</th> <th colspan="2">証明料の助成</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>445</td> <td>3,602</td> <td>7,831,281</td> <td>3,301</td> <td>660,200</td> </tr> </tbody> </table> <p>助成費の推移 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県単事業</td> <td>36,867,671</td> <td>37,633,913</td> <td>37,658,356</td> <td>34,584,180</td> <td>32,981,981</td> </tr> <tr> <td>市単事業</td> <td>8,663,607</td> <td>8,577,945</td> <td>8,726,562</td> <td>8,566,125</td> <td>8,491,481</td> </tr> <tr> <td>伸び率</td> <td>96.12%</td> <td>101.49%</td> <td>100.37%</td> <td>93.03%</td> <td>96.11%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>未就学児の現物給付(H30.9.1～)</td> </tr> </tbody> </table>					年度末有資格者(人)	医療費の助成		証明料の助成		補助率(※)	県補助金受入額	件数	金額	件数	金額	1,295	16,926	30,459,981	12,610	2,522,000	県1/2	16,385,488	年度末有資格者(人)	医療費の助成		証明料の助成		件数	金額	件数	金額	445	3,602	7,831,281	3,301	660,200		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	県単事業	36,867,671	37,633,913	37,658,356	34,584,180	32,981,981	市単事業	8,663,607	8,577,945	8,726,562	8,566,125	8,491,481	伸び率	96.12%	101.49%	100.37%	93.03%	96.11%	備考	-	-	-	-	未就学児の現物給付(H30.9.1～)
年度末有資格者(人)	医療費の助成		証明料の助成			補助率(※)	県補助金受入額																																																											
	件数	金額	件数	金額																																																														
1,295	16,926	30,459,981	12,610	2,522,000	県1/2	16,385,488																																																												
年度末有資格者(人)	医療費の助成		証明料の助成																																																															
	件数	金額	件数	金額																																																														
445	3,602	7,831,281	3,301	660,200																																																														
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																													
県単事業	36,867,671	37,633,913	37,658,356	34,584,180	32,981,981																																																													
市単事業	8,663,607	8,577,945	8,726,562	8,566,125	8,491,481																																																													
伸び率	96.12%	101.49%	100.37%	93.03%	96.11%																																																													
備考	-	-	-	-	未就学児の現物給付(H30.9.1～)																																																													

## (款) 3 民生費

## (項) 2 児童福祉費

## (目) 4 母子福祉費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
12,205	9,851		4,850				5,001

事業区分	2 一人親家庭等医療費支給事業	9,851 千円	事項別明細書 P 104 ~																																										
一人親家庭等医療費助成事業	予算現額	12,205 千円																																											
	決算額	9,851 千円																																											
	翌年度繰越額	0 千円																																											
まちづくりの目標	4-1【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	9,265 千円																																										
<p>一人親家庭や父母のいない児童を養育している家庭などの保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図るため、医療機関に支払った医療費を県及び市が補助することで対象者の経済的負担を軽減しました。また、9月診療分から未就学児を対象に伊勢・志摩医師会管内において現物給付を実施し、受診環境の向上に努めました。</p> <p>○主な経費 扶助費 9,700千円 (H29：9,102千円)</p> <p>○主な財源 県支出金 (一人親家庭等医療費補助金) 4,850千円 (H29：4,551千円)</p> <p>県補助事業 (18歳年度末までの子どもを扶養している一人親家庭等の医療費) (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度末 有資格者 (人)</th> <th colspan="2">医療費の助成</th> <th colspan="2">証明料の助成</th> <th rowspan="2">補助率</th> <th rowspan="2">県補助金 受入額</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>387</td> <td>3,871</td> <td>8,992,079</td> <td>3,542</td> <td>708,400</td> <td>県1/2</td> <td>4,850,239</td> </tr> </tbody> </table> <p>助成費の推移 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県単事業</td> <td>12,424,857</td> <td>12,121,542</td> <td>11,806,292</td> <td>9,102,403</td> <td>9,700,479</td> </tr> <tr> <td>伸び率</td> <td>101.91%</td> <td>97.56%</td> <td>97.40%</td> <td>77.10%</td> <td>106.57%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>未就学児の現物給付 (H30.9.1~)</td> </tr> </tbody> </table>				年度末 有資格者 (人)	医療費の助成		証明料の助成		補助率	県補助金 受入額	件数	金額	件数	金額	387	3,871	8,992,079	3,542	708,400	県1/2	4,850,239		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	県単事業	12,424,857	12,121,542	11,806,292	9,102,403	9,700,479	伸び率	101.91%	97.56%	97.40%	77.10%	106.57%	備考	-	-	-	-	未就学児の現物給付 (H30.9.1~)
年度末 有資格者 (人)	医療費の助成		証明料の助成		補助率	県補助金 受入額																																							
	件数	金額	件数	金額																																									
387	3,871	8,992,079	3,542	708,400	県1/2	4,850,239																																							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																								
県単事業	12,424,857	12,121,542	11,806,292	9,102,403	9,700,479																																								
伸び率	101.91%	97.56%	97.40%	77.10%	106.57%																																								
備考	-	-	-	-	未就学児の現物給付 (H30.9.1~)																																								

## (款) 3 民生費

## (項) 5 人権生活費

## (目) 1 人権生活総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
28,349	27,962					613	27,349

事業区分		1 人権生活給与等管理費		27,907 千円 事項別明細書 P 108 ~	
人権生活一般管理業務		予算現額			28,188 千円
		決算額			27,907 千円
		翌年度繰越額			0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)			24,984 千円
<p>人権啓発推進のための職員4名分の人件費及び管理経費を執行し、担当業務の円滑な運営に努めました。</p> <p>○主な経費</p> <p>職員人件費(4名分) 27,858千円</p> <p>会費等負担金 三重県住環境整備事業推進協議会会費 10千円</p>					

事業区分		2 人権施策推進事業		55 千円 事項別明細書 P 108 ~	
人権施策推進事業		予算現額			161 千円
		決算額			55 千円
		翌年度繰越額			0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)			55 千円
<p>人権関連団体へ会費等負担金を支出し、相互の連絡調整や情報収集・共有を図り、人権施策の推進に努めました。</p> <p>○主な経費</p> <p>会費等負担金 公益財団法人反差別・人権研究所みえ年会費 30千円</p> <p>〃 三重県人権・同和行政連絡協議会分担金 15千円</p> <p>〃 部落解放・人権政策確立要求三重県実行委員会年会費 10千円</p>					

(款) 3 民生費

(項) 5 人権生活費

(目) 2 人権啓発費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,415	1,328		740				588

事業区分		1 人権啓発事業		1,328 千円 事項別明細書 P 108 ~	
人権問題啓発事業		予算現額			1,415 千円
		決算額			1,328 千円
		翌年度繰越額			0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)			1,435 千円
<p>人権講演会開催や市内小中学生から募集した人権ポスターの展示のほか、関係団体と合同で街頭啓発を行うなど、様々な方法で市民の人権意識高揚に努めました。</p> <p>特に、人権講演会では、初の試みとして市障害者互助会と共催で開催することで、例年の倍近くの参加者への人権意識の高揚を図ることができました。</p> <p>また、若竹集会所に相談員を配置し、人権と福祉の拠点としての施設の利活用に努めました。</p>					



## 人権問題啓発事業

～啓発活動の詳細～

- (1) 人権講演会 12月9日(日) 参加者：60名  
「サイレントマジックショー～夢を追いかける、夢をあきらめない～」  
(講師：デフマジシャン ミスターかわづ 氏)
- (2) 市内小・中学生人権作品募集・展示  
応募総数155点(小学生96点、中学生59点)  
展示期間 11月23日(金)～12月10日(月)
- (3) 広報活動  
広報とばコラム「人権文化の花を咲かせよう」執筆・掲載(掲載回数:12回)
- (4) その他 鳥羽駅周辺街頭啓発、ひだまりフェスタ啓発  
「差別をなくす強調月間」図書館特設展示(11月27日(火)～12月11日(火))

### ○主な経費

報酬	広域隣保活動相談員	561千円
委託料	人権講演会開催	119千円

### ○主な財源

県支出金	人権啓発活動推進事業委託金	209千円
〃	広域隣保活動事業補助金	531千円

## (款) 3 民生費

### (項) 5 人権生活費

#### (目) 3 生活女性費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
634	534						534

事業  
区分

## 1 男女共同参画推進事業

337千円 事項別明細書 P 110～

男女共同参画推進事業	予算現額	436千円
	決算額	337千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 268千円

性別に捉われず、個人の個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、三重県内男女共同参画連携映画祭の開催や各啓発週間に合わせた啓発活動を行いました。

特に映画祭では、参加者が昨年度より増加したことで、よりたくさんの方に啓発を行うことができました。

また、令和元年度末で計画期間終了となる「鳥羽市第2期男女共同参画基本計画」の改訂に向け、新計画の素案を作成し、男女共同参画審議会で協議していただきました。

～主な啓発活動～

- (1) 三重県内男女共同参画連携映画祭 7月7日(土)  
映画「彼らが本気で編むときは、」上映(参加者：200名)

<b>男女共同参画推進事業</b>	
(2) 図書館特設展示	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画週間(6月14日～6月29日)</li> <li>・女性に対する暴力をなくす運動期間(11月15日～11月25日)</li> </ul>	
(3) パープルリボン運動(女性に対する暴力をなくす運動)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民課窓口啓発ポスター展示</li> </ul>	
○主な経費	
報酬 (男女共同参画審議会委員)	110千円
使用料(三重県内男女共同参画連携映画祭DVD使用料)	212千円

事業区分	<b>2 人権相談及び行政相談事業</b>		197 千円	事項別明細書 P 110 ~
	<b>人権相談及び行政相談事業</b>		予算現額	198 千円
			決算額	197 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	200 千円	
<p>人権擁護委員による年13回の人権相談と行政相談員による年6回の相談所を開設しました。行政相談では、毎年6月の相談日を「離島相談日」とし、平成30年度は神島町にて開設しました。人権擁護委員会へは補助金を支出し、命の大切さや思いやりなど人権について、楽しく学ぶ機会として、市内全保育所等への自作の人形劇を実施していただきました。</p> <p>両事業とも、法務局や行政相談評価事務所等の関係機関と連携し、円滑な事業遂行に努めることができました。</p>				
○主な経費				
会費等負担金		伊勢人権擁護委員協議会負担金	139千円	
補助金		人権擁護委員会補助金	40千円	